

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	4	地方公共 団体名	青森県弘前市	消防団名	弘前市消防団
担当課	総務部防災課		連絡先	Tel 0172-40-7117 E-mail kun-kosugi@city.hirosaki.lg.jp	
事業名	企業・大学等と連携した消防団員加入促進活動				

事業詳細

○ 事業の目的・必要性

①目的

市内の大学や市が認定している消防団協力事業所、消防団員が連携し、体験型プログラムを通して、消防団活動の認知度向上及び入団促進や防災意識向上を図る。

②必要性

近年、災害が多発しており、市民自身も防災対応力を身に付ける必要がある。今後想定される大規模な災害では、地域に根差した消防団員が教育訓練に指導的な役割を担うことが重要であり、本イベントを開催することは消防団や協力事業所の役割を地域に知ってもらう貴重な機会となる。

○ 事業内容

市内駅前にある「えきどてプロムナード」などの敷地において、消防団車両や資機材、救命救急などの体験型プログラムを通じたイベントを開催した。また、来場者へ消防団についてのアンケート調査を実施した。

①消防団ブース

水消火器による消火体験を行ったり、消防ホースを使用した放水作業の実演を見せたりした。



②PRブース

こども消防自動車の展示やマスコットキャラクターによる誘客、また、各体験ブースへの回遊を促進するため「消防団ふれあいスタンプラリー」を実施したほか、来場者へアンケート調査を実施した。



○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
説明会	回数	3回	3回	大学1校、協力事業所2社において実施。
検討会・打ち合わせ	回数	5回	6回	イベントを円滑に行うため、関係者との打ち合わせ回数が増加。
広告媒体	ポスター作製・配布数	500部	ポスター250枚 チラシ2,000枚	ポスターのほか、広告媒体として有効であると考えたことからチラシを作製。
訓練	回数	3回	1回	イベント時に、体験型プログラムを実施し、スキルアップを図った。
イベント実施	回数	1回	1回	来場者に体験型プログラムを通して、消防団活動をPRすることが有効であると考えたことから実施。

○ 事業成果

イベントを開催し、アンケート調査を実施したことにより、後日1名ではあるが入団につながった。一方、消防団に期待することが「分からない」と回答している方が24.8%もあり、消防団活動の更なるPRが必要と考えられる。

その他参考情報

※URLの記載などをお願いします。